

令和4年度
学校関係者評価結果報告

専門学校久留米自動車工科大学校

1. 学校関係者評価の目的

専門学校久留米自動車工科大学校における学校関係者評価は、「専修学校における学校評価ガイドライン」に沿って、以下のことを目的として実施するものとする。

- ①自己点検評価の評価結果について学校外の関係者による評価を行い、自己点検評価結果の客観性・透明性を高めること。
- ②学生・卒業生、関係業界、中学校・高等学校等、保護者、地域住民、所轄庁・自治体の関係部局など、専修学校と密接に関係する方の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ること。

2. 学校関係者評価委員の構成

学校関係者評価委員は、以下の人員で構成する。

- ・実務に関する知識・技術・技能について知見のある企業職員 1名
- ・業界団体役員 1名
- ・卒業生 1名
- ・保護者代表 1名

3. 学校関係者評価の実施方法

令和5年7月28日（金）

専門学校久留米自動車工科大学校 会議室にて実施

学校関係者評価委員には、事前に自己点検評価書類を送付。

学校側から自己点検に関する項目毎の概要説明及び自己評価、現状と課題、重要案件では具体例を用いて詳細を説明した。

そのうえで行われた教職員との意見交換を通して得られた提案等を特記事項として記載した。

4. 各項目における学校関係者評価

* 評価表記： 4・・・適切 3・・・ほぼ適切 2・・・やや不適切 1・・・不適切

(1) 教育理念・目標について

【項目総括】 教育理念・目標に関しては、主に以下について説明を行った。 <ul style="list-style-type: none">・教育理念はホームページ（以下「HP」）や募集要項及び学生便覧などを利用し広く周知している。・授業計画については、前年 12 月に作成し、教職員への周知を適切に行うなど同じ方向性を持っている。・社会環境変化の対応については、コロナ禍での遠隔授業の実施など、柔軟な見直しを行った。		
【特記事項】 本件に関して質問、意見は特になかった。		
【点検事項】	自己点検 評価	学校関係者 評価
教育理念・目標を具体的に定めているか（3つのポリシーが反映されているか）	4	4
教育理念・目標は各種媒体に明示されているか	4	4
教育理念・目標に基づき、適切な授業計画を作成し、同じ方向性を持って授業遂行できているか	4	4
学校を取り巻く社会環境変化に対応し、必要に応じて教育手法や授業計画を柔軟に見直しているか	4	4

(2) 事業計画に沿った学校運営

【項目総括】 事業計画に沿った学校運営に関しては、主に以下について説明を行った。 <ul style="list-style-type: none">・当該年度の事業計画及び予算は法人本部と連携し適正に作成している。・実施成果については学内の期中・期末監査において評価され、指摘事項については改善計画により対応している。・事業計画・予算状況及び事業報告・決算については学内・HP 等で公開している。		
【特記事項】 本件に関して質問、意見は特になかった。		
【点検事項】	自己点検 評価	学校関係者 評価
単年度事業計画と予算は、法人の正当な手続きに基づき作成・決定されているか	4	4
毎年の個別事業の実施成果を評価すると共に、評価に対応した改善計画を作成しているか	4	4
事業計画及び事業報告書並びに予算・決算等を情報公開しているか	4	4

(3) 教育理念・目標に基づいた学校全体の教育活動・個別の教育活動

<p>【項目総括】</p> <p>入学から在学期間における教育活動に関しては、主に以下について説明を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・入学者の受け入れ方針は設定されており、それによって合否判定を行っている。 ・カリキュラムポリシーやシラバスは全職員に共有化されている。 ・職業教育の専門性確保のため、現在の自動車業界が望む知識・技術を習得できるようなカリキュラム構成を検討・実施している。 ・授業については、午前の講義で学んだことを午後の実習で実践する手法を取り入れることで理解しやすくなるようにしている。また、前期末、後期末に、学生全員に授業評価アンケートを実施し、評価内容によって改善に取り組むことで満足度の向上に努めている。 		
<p>【特記事項】</p> <p>本件に関して質問、意見は特になかった。</p>		
<p>【点検事項】</p>	自己点検 評価	学校関係者 評価
学生受入れの方針の設定がなされているか、また適切な受入数の確保ができて いるか	4	4
教育理念・目標に基づいた教育を展開するためのカリキュラムポリシーの設定が 成されているか	4	4
カリキュラムポリシーは教員に共有化されているか	4	4
シラバス（授業プラン）は教育理念を反映されたものであるか	4	4
シラバスの内容は教員に共有化されているか	4	4
職業教育としての専門性確保のため、教育課程編成委員会や企業と連携し、産業 界のニーズを反映したカリキュラムとなっているか	4	4
個々の授業に対する学生の満足度を高めるために、授業内容及び授業方法の改善 に取り組んでいるか	4	4

(4) 学修成果の実現向上

<p>【項目総括】</p> <p>学修成果の向上を実現に関しては、主に以下について説明を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業生の就職状況は、12年連続で100%を達成する等、安定している。 ・履修状況に応じた取り組みとして、期末試験で成績不良者に適宜勉強会を行う等の対応を行っている。 ・退学者については、クラス担任制、校外指導、保護者との連携など、学生一人ひとりに寄り添った対応を心掛けたが、特に1年生で、当初思っていたイメージと違っていたことや、出席日数不足、レポート未提出に伴う成績不振などにより、退学者数が前年度を上回った。今後は、更に学生一人ひとりに寄り添った対応を心掛けたい。

【特記事項】 委員からは、退学者を減らすことは難しい問題であるとの意見や進級に試験だけでなくレポートの提出が必要なことを学生に対して更に周知をすることが必要ではないか等の意見をいただいた。		
【点検事項】	自己点検 評価	学校関係者 評価
履修認定基準は公正であるか	4	4
各学科卒業生及び修了生の資格試験の合格率は向上しているか	4	4
各学科卒業生の就職率は向上しているか	4	4
履修状況（出席状況・期末試験の結果）に応じた学修支援は十分か	4	4
各学科の課程修了に応じた進級状況は向上しているか	4	4
退学率は減少しているか、また退学に至るまでの対応は適切であるか	2	2
資格試験合格のための対策授業を実施しているか、それは適切か	4	4

(5) 学生の教育及び生活における課題解決に対する支援

【項目総括】 学生の教育や生活における課題に対する支援に関し、具体例をあげて説明した。 ・学生の教育課題については、再試験に向けた勉強会、国家試験対策授業などを行っている。 ・学生の精神的な課題については、クラス担任の対応と共に臨床心理士による個別面談を継続している。 ・就学における経済的問題に関しては、国の給付型や貸与型の奨学金を活用するとともに校納金の延納・分納について募集要項に記載する等情報提供を行っている。		
【特記事項】 本件に関して質問、意見は特になかった。		
【点検事項】	自己点検 評価	学校関係者 評価
学生の教育課題を把握し、課題への対応を検討・実施しているか	4	4
学生の精神的な課題を早期に発見し、専門的で個別指導を促すことを実行できているか	4	4
就学の経済問題の相談に対し、国・県の支援制度を活用しているか	4	4

就学の経済問題の相談に対し、校納金の延納、分納、奨学金制度等の情報提供を行っているか	4	4
--	---	---

(6) 教育環境

<p>【項目総括】</p> <p>教育環境に関して、主に以下のように現況を説明した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実習教材については、計画的に入替をしており、令和4年度は学生が使用する工具箱を購入した。 ・学習施設については、必要な修繕は実施しており、令和4年度は水道管敷設工事を実施した。 ・学生の福利厚生施設としての学生ラウンジの整備については、学生を含めた実行委員会で設置場所等について検討を行っている。 		
<p>【特記事項】</p> <p>委員からは、猛暑の中暑さ対策は何か行っているのかとの質問があり、水分補給を適切に行うよう指導しているとの回答を行った。</p>		
【点検事項】	自己点検 評価	学校関係者 評価
自動車の整備技術の進化に対応し、実習教材を整備・充実させているか	4	4
学生の在籍状況に応じた学習施設の維持・補修を行い、必要に応じて教育機能の充実を図っているか	4	4
学生の福利厚生施設の検討を行い、必要に応じて整備できているか	3	3

(7) 学生募集の充実とマネジメント

<p>【項目総括】</p> <p>学生募集に関して、主に以下について説明した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育の質向上と適切な施設維持、情報媒体を中心とした広報により入学生の確保に努めた。 ・令和2年度から実施している少人数リクエスト型オープンキャンパスの実施やweb広告など多様な学生募集を行っている。 ・本校は外部負債がないこと、また目標とする入学者を確保し、収入の安定と適切な支出管理を行うことで、現状では持続可能な財務基盤を整えている。 ・スバルの新型EVの技術講習、マツダのHV/EVの技術講習に複数名の教師が参加する等、教職員の資質・能力向上に向けた研修を実施している。 		
<p>【特記事項】</p> <p>委員からは、経営状況に関し、本校は支出超過の状況であるが、支出超過幅は減少傾向であること、また学校法人全体としては収入超過の経営状況である旨の意見があった。</p>		

【点検事項】	自己点検 評価	学校関係者 評価
入学生及び在籍学生の確保に努めたか	4	4
学生募集を強化し、全学科合わせて目標の入学者を確保できているか	4	4
入学生確保のためのオープンキャンパス開催、WEB広告充実など多様な学生募集の展開を実施しているか	4	4
入学者確保による収入の増加と経常的支出を計画的に削減することで収支安定を図っているか	4	4
継続可能な財政は確立されているか	3	3
教職員の資質・能力向上に向けた研修を実施したか	4	4

(8) ガバナンスとコンプライアンスの確保

<p>【項目総括】</p> <p>適切な学校運営を取り組むに当たり、各種会議は適切に開催する等組織的統制を行っていること、学校法人の理事会・評議委員会との連携並びに監査結果への対応を誠実に行っていることなどを報告した。</p>		
<p>【特記事項】</p> <p>本件に関して質問、意見は特になかった。</p>		
【点検事項】	自己点検 評価	学校関係者 評価
学校の組織的運営のため、職員会議をはじめとする各種会議の適正な開催と組織的な統制は確保されているか	4	4
法人理事会・評議委員会の意思決定及び法人監査による監査指摘への対応に基づく円滑な学校運営はなされているか	4	4